

令和6年12月7日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム 久米の家

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和6年10月11日(金) 14時30分～15時30分まで

開催場所…グループホーム 久米の家 ホール

出席者

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	5人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	0人	その他(ゆうあい代表理事)	1人

議事

◆「業務継続計画…災害編」

災害や地震を想定した訓練を定期的に行っている状況と先日行った訓練についての内容や状況を報告する。

想定・・・線状降水帯が発生し土砂災害訓練や洪水による災害の危険性が急激に高まった想定で訓練を行う。

警戒レベル1～4までの行動パターンを決め、それを班ごとのマニュアルを作成し対応した事や「災害計画」や「非常用持出しマニュアル」を回してもらい閲覧して頂く。備蓄品の倉庫も避難所である併設施設の2Fに設置しその写真も見てもらおう。

○活動報告と現状報告

利用者 8名(女性5名 男性3名)

年齢 平均84歳

介護度 介護1(2名) 介護2(3名) 介護3(3名)

介護4(0名) 介護5(0名) 平均2.1

* 看取り介護にて9/23に看取らせて頂く。現在1部屋空あり。

職員 管理者1名 ケアマネージャー1名

介護職員10人(常勤7人 非常勤3人・短縮時間制度利用2名)

介護福祉士取得 9人

認知症基礎研修 1人

調理職員4名(非常勤4名)

*10/12 島根県の最低賃金改正にて、久米の家も対応

・行事やレク等報告

パワーポイントで写真を使って発表する

・ヒヤリハット報告

前回のヒヤリハットに上がった転倒のリスクの高いご利用者様の経過

➡靴の改善

トイレまでの導線の見直しで居室を移動して対応しました

ヒヤリハット種類	6月	7月
転倒	0件	1件

内容

嚥下障害のご利用者様で食事介助後口の中に残っていたのを他職員が発見する。

対策

- ・食後の見守り、観察の強化
- ・トロミの具合の再統一
- ・体調や嚥下に応じての食事形態の変更

○事故報告 左上腕骨頸部骨折

➡歩行が不安定になられた夏から居室をトイレに近い部屋に移動し動線確認もしていたが防ぐことが出来なかった。また、転倒時手首の痛みとの申し送りで手首ばかりを考えており、全身の観察が遅れてしまった。

○看取り介護の報告

令和元年10月入居されたご利用者様の看取りケアの経過を報告する。入居当時から医療が嫌いで最後まで毅然として医療を拒否されており、S様らしい最後であった。最後の1週間はご家族との時間も作ることが出来た。以前から「最後は誰の迷惑にもなりたくない・・・」と言われていた通り苦しまれる事なく旅立たれた。

○委員会活動

虐待防止委員会➡研修会

身体拘束排除委員会➡研修会

業務継続委員会➡3回目の災害訓練を実施

➡感染は併設施設と合同で開催

生産性向上委員会➡タブレット端末の見直し。議事録やその他帳票も電子化。

意見交換は特に意見が出なく事業所が一方向的にすすめた会であった。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○